

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.38

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

令和元年度 定時総会

令和元年6月25日に一般社団法人青森県畜産協会の第16回定時総会が開催されました。

冒頭、小山田 久会長から、「生産基盤の強化と急激な国際化への対応が課題。このため、畜産クラスター事業、牛マルキン事業、家畜衛生などの諸対策を通じて収益性の向上と生産基盤の強化に努めてきた。また、協会として新たに牛マルキン事業の肉専用種について1月から青森県独自の算定方式に変更したことや豚コレラ防疫対策として県内養豚場に消毒薬を提供した。引き続き、関係各位の御支援・御協力をお願いする。」と挨拶がありました。

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び計算書類の承認
- 第2号議案 令和元年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法
- 第3号議案 令和元年度事業計画書及び収支予算書の報告
- 第4号議案 役員の変更

提出議案はすべて承認されました。その後第3回理事会が開催され、下記の役付役員が選任されました。

(再任)		(新任)	
会 長	小山田 久	理 事	金子 春雄
副 会 長	山崎 憲久、佐々木 福栄	理 事	千葉 準一
専務理事	菅 慶一郎		
代表監事	白戸 勝一		



女性経営者 交流会

令和元年6月17日(月)、七戸町と野辺地町において、「東北地区畜産女性グループの交流会」が開催され26名の出席がありました。この交流会は、中央畜産会の「畜産女性経営者の地域育成支援事業」に取り組んでいる福島県、宮城県及び青森県の畜産女性が一堂に会して、畜産女性を取り巻く諸課題の検討や女性自身の経営者としての能力を高めることをねらいとして開催したもので、青森県畜産協会が主催したものです。

当日は、昨夜の雨の余韻が残る午前11時に七戸・十和田駅に集合して、七戸町のレストランNARABIで交流会を開催し、牧場ランチに舌つづみの後、自由時間にジェラートなどを楽しんだ。快晴となった午後には、先進地研修先の野辺地町までバスで移動して全国最大級の大規模酪農(NAMIKIデーリィファーム、飼養頭数1,700頭飼育)の関連施設と1時間で300頭搾乳できる60頭用ロータリパーラーを視察した。従業員は40名で7人体制の輪番制。皆さん規模の大きさにビックリ!!。その後、青森県の畜産女性が行っている稲SGSの取組紹介や青森県家畜市場施設を見学して、七戸・十和田駅で解散となった。来年度も行う予定で畜産女性には来年度が待ち遠しい交流会となった。



令和元年度 家畜衛生表彰者

【東青地区】

はら そのこ
原 園子 殿

同氏は平成21年3月に青森県を退職後、同年4月に産業動物獣医師の少ない東青地域において、はら動物病院に勤務すると同時に、産業動物診療獣医師として診療を開始した。

これを契機に地域肉用牛農家を定期的に巡回し、生産者に寄り添った指導を継続している。なお、無獣医地域を抱える東青地域において安定した獣医療の提供を目的に、当協議会の実施する産業動物獣医療安定確保対策にも参画し、開業獣医師不在の上磯地域における子牛の下痢・肺炎予防対策に尽力し、生産者からの信頼も厚い。

10年間の継続した取り組みにより、当地域の下痢・肺炎の発症頭数は減少し、特に重症例については激減となっている。



【つがる地区】

つがる市屏風山畜産組合 殿
しびょうぶさん

同組合は昭和34年に共有の野草地を牛馬の共同放牧場として利用されたのが始まりで、平成17年の町村合併により「つがる市屏風山畜産組合」の名称となり現在に至る。

その間、同組合は平成13年に全国和牛登録協会から和牛改良組合の認定を受け、平成20年には全国草地畜産コンクールにおいて特別賞を受賞している。平成25年からは繁殖雌牛の白血病抗体保有状況の把握を務めるとともに、平成28年からは吸血昆虫対策を積極的に取り組み、全国家畜保健衛生業績発表会に選出されるなど高い評価を受けた。

加えて令和3年度から冬季預託施設の開設を予定しており、今後の成長が期待される。



【三八地区】

にしむら ただし
西村 正 殿

昭和49年に父親から軽種馬を数頭受け継ぎ生産を始め、その後競走馬の休養のための預託をするなど軽種馬生産に長く携わってきた。しかし、地方競馬の衰退に伴い今後の軽種馬生産経営に不安を感じ、50歳の時に肉用繁殖牛8頭から肉用牛生産経営をいち早く移行した。人工授精師免許の取得、肉用牛の血統や育種価を独自で勉強し、受精卵移植技術も活用し、こだわりの血統を確立したさらに八戸和牛改良組合の創設にも尽力した。農場は平成29年に株式会社となり、現在代表取締役を務めている。

また、家畜衛生に関する意識も高く、定期的にワクチネーションを実施するほか、飼養牛の白血病対策にも積極的に取り組み、平成27年度には清浄化を達成し、現在も維持している。



【むつ地区】

いいだ かずし
飯田 一志 殿

有限会社飯田養豚場は、現代表取締役である飯田一志氏の父の代から続く養豚場で、同氏が平成8年に父から本格的に引継ぎ、現在、母豚300頭規模の養豚場を家族5人で運営し、生産される豚肉の一部は、地域の特性を生かし地元酒蔵の酒粕が原料添加されている配合飼料で育てる“あおもりほろ酔い豚”として販売し、高評価を受けている。

また、平成25年頃から「安全・安心」を消費者に届けたいという思いでHACCP認証取得を目指し取り組みを始め、平成31年1月に取得。

さらに、飼養衛生管理基準を順守するとともに、疾病の発生予防のために予防注射や消毒などの家畜衛生対策や適正なふん尿処理等にも積極的に取り組んでいる。



各種制度交付金単価

1. 肉用子牛生産者補給金制度

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		531,000円	489,000円	314,000円	161,000円	269,000円
合理化目標価格		421,000円	388,000円	249,000円	108,000円	212,000円
平成30年度 第4四半期 (1月～3月)	平均売買価格	793,300円	563,400円	337,600円	246,000円	467,900円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度 (牛マルキン)

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
平成31年1月期 (3月交付)	—	—	54,378.9円	
平成31年2月期 (4月交付)	—	—	64,769.4円	
平成31年3月期 (5月交付)	4064.4円	—	74,024.1円	
平成31年4月期 (6月交付)	—	—	38,722.1円	(概算払い)
令和元年5月期 (7月交付)	2,433.2円	—	26,806.1円	(概算払い)

3. 肉豚経営安定交付金制度 (豚マルキン)

令和元年度 第1四半期(4月～6月)	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
	39,650円/頭	34,079円/頭	0円/頭

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧いただけます。

<http://www.keiba.go.jp/>

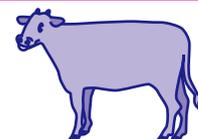


青森県家畜市場成績 (七戸)

子牛 市場成績表

【開催日 2019年7月12日】

1. 販売価格 税込み【子牛】



品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	317	1,630,800	119,880	822,575	301	334	2,466	329	825,829	2,556	-90
	雌	234	2,178,360	241,920	673,657	318	300	2,244	208	704,456	2,383	-139
【小計】		551	2,178,360	119,880	759,332	308	319	2,378	537	778,817	2,493	-115
日本短角種	雄											
	去	1	304,560	304,560	304,560	311	297	1,025	1	373,680	1,115	-90
	雌											
【小計】		1	304,560	304,560	304,560	311	297	1,025	1	373,680	1,115	-90
乳用交雑種	雄											
	去											
	雌	15	381,240	381,240	381,240	291	319	1,195	10	381,240	1,112	83
【小計】		15	381,240	381,240	381,240	291	319	1,195	10	381,240	1,112	83

・黒毛和種の取引頭数は551頭で、前回より去勢12頭減、雌26頭増、全体で14頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は759千円で、前回より去勢3千円安、雌30千円高、全体で19千円安となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	54	857,700	336	2,552	303	30	664,776	311	2,136	327	84	788,799	2,411	311	15.3
美津照重	32	758,396	319	2,380	300	25	615,254	291	2,114	304	57	695,615	2,269	302	10.3
平安平	11	609,120	315	1,934	296	23	575,969	290	1,983	314	34	586,694	1,966	308	6.2
勝早桜5	9	1,075,200	374	2,878	304	8	724,950	302	2,404	310	17	910,376	2,680	306	3.1
幸紀雄	33	942,120	337	2,796	303	9	737,760	296	2,490	317	42	898,329	2,737	306	7.6
総合計	317	822,575	334	2,466	301	234	673,657	300	2,244	318	551	759,332	2,378	308	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花国」で15.3%、次いで「美津照重」10.3%となった。
 ・第一花国の平均価格は788千円で、前回に比べ4千円高となった。単価は2,411円で前回より128円安となった。

親子バスツアーを開催しました♪

7月29日、畜産を学び、畜産と親しむための小学生親子を対象としたバスツアーを開催し、大人21名、こども33名が参加しました。

青森市をバスで出発し、十和田市の食肉衛生検査所において坂上友康次長の説明により、食卓にお肉が並ぶまでの流れを勉強しました。その後移動して新郷村にある間木ノ平グリーンパークで搾乳体験や馬、羊たちとのふれあいを楽しみました。パーク内に繋いでいる羊やポニーとも近い距離で触れ合うことができました。

昼食はパーク内でBBQをして、参加者同士が楽しくお肉を味わいました。そして（一社）新郷村ふるさと活性化公社の三瀧氏を講師として作ったミルクアイスクリームが濃厚でおいしくて大好評で、こどもたちは何回もおかわりしていました。

今回のバスツアーが参加者の皆さんの夏休みの思い出になったらとてもうれしいです！



八戸馬市場において青森県はちみつを配布



7月2日、南部町にある八戸家畜市場においてサラブレッド1歳馬のセリが行われた。青森県畜産協会では本市場開催時に購買登録者に青森県産食品を配布するPR活動を実施しており、今年で3回目となる。

まず屋外で馬の歩いたり走ったりする様子を確認する比較展示が行われ、多くの来場者がじっくりと観察していた。

セリは開始早々から多くの声がかかり、上場した35頭のうち24頭が売却された。

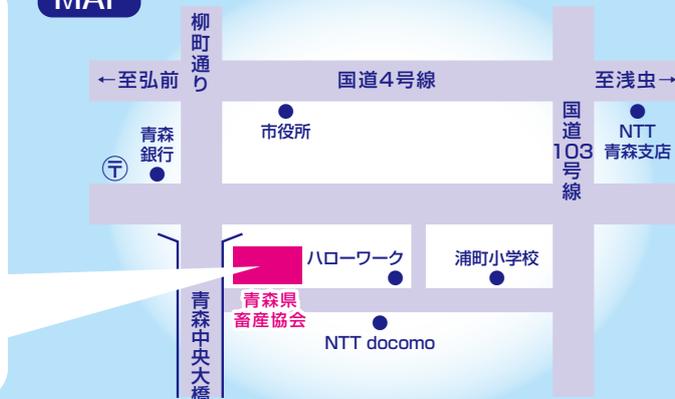
来場者は北海道から九州まで各地から足を運んでおり、安全安心な県産はちみつを広くPRすることができた。はちみつは「とち」と「りんご」の2種類をセットにして配布し、女性にとっても好評であった。



ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜産ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
家畜衛生課 Tel(017)722-4331

経営支援課 Tel(017)723-2775
Tel(017)718-3809

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp